

第122回宇宙政策委員会 議事要旨

1. 日時：令和8年2月24日（火） 14：00－16：00

2. 場所：内閣府宇宙開発戦略事務局大会議室

3. 出席者：

(1) 委員

後藤委員長、青木委員、片岡委員、櫻井委員、澤田委員、白坂委員、松尾委員

(2) 内閣府

内閣府宇宙開発戦略推進事務局：

風木事務局長、渡邊審議官、猪俣参事官

(3) オブザーバー

宇野善昌内閣総理大臣補佐官

宇宙航空研究開発機構（JAXA）：山川理事長

東京大学大学院工学系研究科：中須賀教授

(4) 関係省庁等

総務省国際戦略局：柴山官房審議官（国際戦略局担当）

文部科学省研究開発局：坂本局長

経済産業省大臣官房：畑田審議官（製造産業局担当）

防衛省大臣官房：吉野サイバーセキュリティ・情報化審議官

4. 議事要旨：

(1) 宇宙技術戦略の改訂について

事務局より資料1-1～1-3に基づき説明を実施。

委員からは以下のような意見があった。

- 光通信端末はリアルタイムにデータ受信する上で極めて重要。機微技術に近付いている。米国に製造企業はあるが、内部需要を優先しており、日本国内では入手しにくい。開発をスピードアップして、光通信端末の小型化を図ってほしい。
- 強い産業を作っていくことも重要なが、昨今の安全保障環境から、まず自立性を確保していくことが何より重要。また、GOSAT-GWの取組について記載があるが、国際標準を取っていくことも重要である。
- 洋上打上げは韓国も成功させている。日本の地上射場は制約が多いため、我が国でも洋上打上げの検討が進められることは良いことである。
- 特段の修正意見なく、本案をもって宇宙技術戦略改訂版とする。

(2) 宇宙戦略基金の基本方針改定案・実施方針（第三期）案について

事務局及び各省より資料 2-1～2-5-2 に基づき説明を実施。

委員からは以下のような意見があった。

- JAXA 全体の関与の仕方について、人員・リソースを柔軟にするという点は、基金の目的を踏まえると生産的で良いと思う。
他方、従前の運用ルールの変更は慎重にするべき。まずは審査会というハードルがあり、そのハードルを通じた後に、JAXA による技術開発マネジメントや、採択事業者と JAXA の調達を見据えた協力関係も進める。仔細は、「なお書き」等で記載されていると思われるが、利益相反の点は、入口だけではなく出口の部分を監視する仕組みを JAXA で構築することが必要。官民総出でということなので、引き続き事業運営については留意願いたい。
- 採択された事業者が誰と連携しているのかをどのように把握するのか。JAXA 職員が提案できないというだけでは、その仕組みを抜けた取組なども出てくるかもしれない。
- 運営費交付金との整理を明確にしたうえで、JAXA に蓄積されているノウハウ・技術を基金に活かすことで基金事業の運営が効率化できると思慮。民間の技術開発リスクも軽減できると考える。
- 宇宙戦略基金は、予見可能性の確保や、複数年度にわたる契約が可能であること等、基金が持つ特性を高いレベルで機能させ、成果を出していくことが重要。また同時に、様々なレベルでのガバナンスも求められるので、関係省庁、JAXA と連携して知恵を出し合い、しっかりと迅速に進めてほしい。

(3) 航空・宇宙ワーキンググループについて

事務局及び文部科学省より資料 3-1・3-2 に基づき説明を実施。

委員からは以下のような意見があった。

- 戦略 17 分野を横通しするのは宇宙分野であると考えており、宇宙分野を起点に他の各分野に展開するメッセージやナラティブを検討し、成長戦略に反映してほしい。
宇宙分野が市場化に向かっている中、JAXA の位置づけについて検討する時期に来ているのではないかと。例えば、公社化による資金調達などが考えられる。
- 射場整備は政府で支援して量産化は民間で行うといった形であれば民間投資を呼び込めるかもしれないが、射場そのものに官民で投資していくには、打上げ頻度

や需要の確保など政府側の一層の対応が必要。

- 「宇宙基本計画」は予見性を高める重要な存在。次いで、アンカーテナンシーの予見可能性をどのように高められるかが今後の課題。
また、国内官需だけでは広がりがなく、海外需要をどのように取り込んでいくのかも重要。サプライチェーンやバリューチェーンの観点で、トップダウンの資金流入と、ボトムアップの技術開発とのつながりを注視することが必要。
- 社会実装に向けた出口支援とともに、JAXAの萌芽的な研究開発能力を強化することも重要。
- 官民戦略投資、輸送能力強化、JAXA強靱化、いずれも日本の宇宙分野の最重要課題。委員の皆様から出た意見などについては、次回のワーキンググループや今春の官民投資ロードマップ案に反映してほしい。

(4) 宇宙政策委員会の運営について

事務局より資料4に基づき説明を実施。

以上